【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第６区分
【発行日】令和5年12月27日(2023.12.27)

【国際公開番号】WO2023/145175
【出願番号】特願2023-522840(P2023-522840)
【国際特許分類】
Ｂ６７Ｂ　7/82(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６７Ｂ　7/82

【手続補正書】
【提出日】令和5年4月13日(2023.4.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
缶の上端外周の円筒状の立ち上がり部を切断することで前記缶から蓋を切除する缶蓋切除器具であって、
前記立ち上がり部を受け入れる凹部を有する本体部と、
前記本体部に設けられた、前記立ち上がり部を切断するための刃体と、
前記本体部が前記缶に装着された状態において前記刃体を前記立ち上がり部に向けて押し付けるための操作部と、
前記凹部の内部に設けられ、前記本体部が前記缶に装着された状態で前記蓋のプルタブを保持するプルタブ保持部と、
を備え、
前記プルタブ保持部は、
前記プルタブの開口に挿入され前記プルタブを保持する保持突起部と、
前記本体部から前記凹部の内側に向かって延び出し、前記保持突起部と前記本体部とを接続する接続部と、
を有し、
前記本体部が前記缶に装着された状態で前記缶の周方向に回転することで、前記プルタブ保持部によって保持された前記プルタブが、前記プルタブを前記蓋に固定している固定ピンを中心として、前記本体部とともに回転するように構成されており、
前記プルタブ保持部は、
前記接続部が前記本体部に回動可能に支持されることにより、前記保持突起部が前記凹部の内部に位置する向きと、前記保持突起部が前記凹部より下方に離れる向きとに移動可能に構成されている、
缶蓋切除器具。
【請求項２】
缶の上端外周の円筒状の立ち上がり部を切断することで前記缶から蓋を切除する缶蓋切除器具であって、
前記立ち上がり部を受け入れる凹部を有する本体部と、
前記本体部に設けられた、前記立ち上がり部を切断するための刃体と、
前記本体部が前記缶に装着された状態において前記刃体を前記立ち上がり部に向けて押し付けるための操作部と、
前記凹部の内部に設けられ、前記本体部が前記缶に装着された状態で前記蓋のプルタブを

保持するプルタブ保持部と、
を備え、
前記プルタブ保持部は、
前記プルタブの開口に挿入され前記プルタブを保持する保持突起部と、
前記本体部から前記凹部の内側に向かって延び出し、前記保持突起部と前記本体部とを接続する接続部と、
を有し、
前記本体部が前記缶に装着された状態で前記缶の周方向に回転することで、前記プルタブ保持部によって保持された前記プルタブが、前記プルタブを前記蓋に固定している固定ピンを中心として、前記本体部とともに回転するように構成されており、
前記プルタブ保持部は、
前記凹部の周方向における前記保持突起部の両側に、前記プルタブを受け入れる一対のプルタブ保持凹部を有する、
缶蓋切除器具。
【請求項３】
缶の上端外周の円筒状の立ち上がり部を切断することで前記缶から蓋を切除する缶蓋切除器具であって、
前記立ち上がり部を受け入れる凹部を有する本体部と、
前記本体部に設けられた、前記立ち上がり部を切断するための刃体と、
前記本体部が前記缶に装着された状態において前記刃体を前記立ち上がり部に向けて押し付けるための操作部と、
前記凹部の内部に設けられ、前記本体部が前記缶に装着された状態で前記蓋のプルタブを保持するプルタブ保持部と、
を備え、
前記本体部は、前記本体部が前記缶に装着された状態において前記蓋の中央部付近を少なくとも露出させる開口部を有する、
缶蓋切除器具。
【請求項４】
缶の上端外周の円筒状の立ち上がり部を切断することで前記缶から蓋を切除する缶蓋切除器具であって、
前記立ち上がり部を受け入れる凹部を有する本体部と、
前記本体部に設けられた、前記立ち上がり部を切断するための刃体と、
前記本体部が前記缶に装着された状態において前記刃体を前記立ち上がり部に向けて押し付けるための操作部と、
前記凹部の内部に設けられ、前記本体部が前記缶に装着された状態で前記蓋のプルタブを保持するプルタブ保持部と、
を備え、
前記刃体は、前記立ち上がり部の内周を切除するものであって、
前記操作部は、前記本体部に対して前記凹部に近づく向きと前記凹部から離れる向きとに移動するように設けられ、前記操作部が前記本体部に向けて移動すると、前記刃体が前記凹部の外側に向かって進出するように構成されている、
缶蓋切除器具。
【請求項５】
前記本体部は、
前記本体部が前記缶に装着された状態で、前記立ち上がり部を間に置いて前記刃体の反対側となる位置に設けられ、前記立ち上がり部の外周面を押さえる摺動部材を有する、
請求項４に記載の缶蓋切除器具。
【請求項６】
前記摺動部材の断面形状は、
前記刃体が前記立ち上がり部に押し付けられた際に、前記立ち上がり部の巻締め部の下

方に当接する突出部を含んでいる、
請求項５に記載の缶蓋切除器具。
【請求項７】
前記本体部は、前記本体部が前記缶に装着された状態で、前記缶の前記立ち上がり部の巻き締め部部分に弾性的に当接する突起部を有する、
請求項１又は２に記載の缶蓋切除器具。
【請求項８】
缶の上端外周の円筒状の立ち上がり部を切断することで前記缶から蓋を切除する缶蓋切除器具であって、
前記立ち上がり部を受け入れる凹部を有する本体部と、
前記本体部に設けられた、前記立ち上がり部を切断するための刃体と、
前記本体部が前記缶に装着された状態において前記刃体を前記立ち上がり部に向けて押し付けるための操作部と、
前記凹部の内部に設けられ、前記本体部が前記缶に装着された状態で前記蓋のプルタブを保持するプルタブ保持部と、
を備え、
前記本体部は、前記刃体によって前記立ち上がり部に形成された切断部に当接して前記切断部を清掃する清掃部材を有する、
缶蓋切除器具。
【請求項９】
缶の上端外周の円筒状の立ち上がり部を切断することで前記缶から蓋を切除する缶蓋切除器具であって、
前記立ち上がり部を受け入れる凹部を有する本体部と、
前記本体部に設けられた、前記立ち上がり部を切断するための刃体と、
前記本体部が前記缶に装着された状態において前記刃体を前記立ち上がり部に向けて押し付けるための操作部と、
前記凹部の内部に設けられ、前記本体部が前記缶に装着された状態で前記蓋のプルタブを保持するプルタブ保持部と、
を備え、
前記本体部は、前記本体部が前記缶に装着された状態において前記蓋の中央部付近を少なくとも露出させる開口部を有する環状の形状を有し、
環状の前記本体部は、
前記立ち上がり部の外周の一部に沿うように円弧状に形成されたガイド部領域と、
前記ガイド部領域に連なるように形成され、前記立ち上がり部から離れる方向に延びるように形成された延出部領域と、
を含む形状を有する、
缶蓋切除器具。
【請求項１０】
前記本体部は、
前記ガイド部領域によってガイドされていない前記立ち上がり部の外周面に対して進出し、前記外周面を押さえるアダプタ部材と、
前記アダプタ部材を前記外周面に押し付ける向きに力を付与する弾性部材と、
を有する、
請求項９に記載の缶蓋切除器具。
【請求項１１】
前記アダプタ部材は、
前記延出部領域の内側に配置されたレバー部分であって、前記アダプタ部材を前記立ち上がり部から離すためにユーザによって操作されるレバー部分を含む、
請求項１０に記載の缶蓋切除器具。